

くらよし

August
2011

8

平成23年8月号

No.1398

今月のトップ：NHKのだ自慢がやって来た！

- NHKのだ自慢がやって来た！… 2～3
- 第35回倉吉打吹まつり…………… 4～5
- 平成22年度財政概況報告…………… 6～7
- 倉吉市職員の給与・勤務実態…… 8～9
- ハート・バリアフリー…………… 10
- インフォメーション・プラス… 11～13
- インフォメーション…………… 14～17
- あんしんファイル…………… 18～19
- レッツ！介護予防/とりたん…… 20～21
- 市長コラム/シナブロ韓国…………… 22
- まちかどピンナップ…………… 23
- 出かけてみよう…………… 24～25
- 元気通信/人口…………… 26

NHK
のだ自慢




思いっきり歌って、踊ろう！
～NHKのだ自慢本選～

楽しい衣装と振り付けで「ベッパ―警部」を歌った「なしっこ館」の
田中洋子さん、佐々木奈津子さん、別所直美さん



NHK のど自慢

がやって来た!



◀予選会の7月9日(土)、本選の7月10日(日)の両日も、倉吉未来中心アトリウムには、観覧を希望する人たちの長い列ができた。さすがは、国民の人気番組。

日曜日のお昼は

やつぱり、のど自慢!

大ホールが、巨大なカラオケボックスに!?

7月10日(日)、倉吉未来中心大ホールで、「NHKのど自慢」の公開生放送が開催されました。

これは、NHK鳥取放送局開局75周年と倉吉未来中心オープン10周年を記念したもので、倉吉市での開催は、10年ぶりとなりました。

前日の予選会には、倉吉市内からはもちろん、県内外から、歌うことが大好きな250組が参加。スタッフの「今から、この倉吉未来中心の大ホールは、巨大なカラオケボックスになります。皆さん、大いに楽しんでください」という声に、会場は一気に盛り上がり、出場者は自慢の歌声とパフォーマンスを披露して会場を沸かせました。観覧者

の一人は、「予選会だけど、出場者の『歌が好き』という熱意がビシバシ伝わってきて、すごく楽しい。みんなが本選に出場できればいいのに。私もカラオケで歌いたくなりまして笑」と興奮した様子。

本選をかけた熱唱は、4時間以上も続き、夕方、厳正な審査の結果、本選に出場する20組が発表されました。倉吉市からも7組が選ばれました。

歌のチカラがそこにある

公開生放送当日には、早朝から観覧する人の長い列ができ、「こんなにワクワクするのには久しぶり」という声も。この番組の人気の高さがうかがえます。

この日は、徳田章アナウンサーが司会を務め、歌手のささきいさおさんと水森かおり

【出場者の声】



「望郷列車」を熱唱した
相見 和臣さん

「以前、地域の老人クラブで、倉吉未来中心を見学した時、大ホールのステージに立ち、『これだけ大きな舞台上で歌ったら、さぞ気持ちがいいだろう』と思ったのが、今回、のど自慢に応募したきっかけです。

『望郷列車』は、好きな歌ですし、東日本大震災で故郷の東北地方を思いやる人たちの心情に寄り添うことができる歌なのではないかと思い、選びました。

緊張はしませんでした、たくさんの応募者の中から選んでもらい、良い思い出になりました」



緊張あり、笑いあり、
歓声ありー。

▲(中)本番前には、石田市長もステージで歓迎のあいさつ。



▲ささきいさおさんのパワフルな歌声とパフォーマンスは、会場と全国のお茶の間に、勇気と元気を与えてくれた。



▲水森かおりさんの輝くような笑顔に、みんながうっとり。中央は、「松島紀行」を歌った牧田嘉子さん



▲「かもめが翔んだ日」を歌った
吉田直美さん



▲「足手まとい」を歌った平野辰
広さん



▲「愛のままで…」を歌った大嶋
明美さん



▲「明日があるさ」を歌った井上
光紀さん

▼運営スタッフたち。会場全体の運営や進行をスムーズに行うだけでなく、会場を訪れた人や視聴者にとことん楽しんでもらおうと、細やかな気配りをする。

特に、予選会で250組、本選で20組の伴奏をやり遂げた演奏スタッフには、驚嘆の声があちこちで聞かれた。どんなにテンポや音程が外れてしまっても、きちんと歌い手に合わせてくれるのは、まさに神技。



さんがゲストで出演。午後0時15分、会場全体が大きな緊張と期待に包まれる中、軽やかな鐘の音とともに生放送がスタートしました。20組の出場者は、思い入れがある「とっておき」の歌を、明るく楽しく、あるいは切なくしつとりと歌い上げ、歌い終わるたびに、ステージや客席から惜しみない拍手が送られていきました。徳田アナウンサーやゲストとのやりとりも軽妙で、時には、会場全体が爆笑の渦に。45分間の放送で倉吉の「元氣」を全国のお茶の間にしつかり届けました。

ゲストのささきさんと水森さんの歌はもちろん、ステージに立ったすべての人の熱唱に、心を打たれ、元気が湧いた2日間でした。
——歌のチカラを実感できる素敵な番組だからこそ、こんなにたくさんの人に愛されるのだと感じました。